ACSES ニュースレター_２２０９号（2021 年 11 月 12 日）

発行：NPO 法人教育研究機関化学物質管理ネットワーク（ACSES）事務局

―目次（12 頁）―

[1] 化学物質関係事故、事件関係
◇千葉 野田の工場の敷地内で廃材など火災 消火活動中〈放送報道〉
◇その他の事故、事件
・消費者安全法の重大事故等に係る公表について〈消費者庁〉
・消費者安全法の重大事故等以外の消費者事故等の事故情報データバンクの登録について〈消費者庁〉
□大災害、原発事故対策
[福島原発事故]
・食品中の放射性物質の検査結果について（１２６１報）〈厚生労働省〉
[2] [特集] 新型コロナウイルス感染症
[状況]
◇省庁発表
◇マスコミ報道　見出し
[対策・予防]
◇省庁発表
◇ワクチン、検査薬、治療薬等
◇大学等関係
◇マスコミ報道　見出し
[3] 健康安全
◇葉タバコ農家、4 割が廃作へ　1729 戸、10 年ぶり募集〈Web 報道〉
[4] 廃棄物関係
◇プラ製品「添加剤」、汚染広がりに懸念　野生生物や人から見つかる〈新聞報道〉
◇たった１人で海岸のゴミ回収、ポリ袋１千袋　広がり始めた善意の輪〈新聞報道〉
[5] 温暖化対策関係
◇米中が温暖化対策協力で合意　共同宣言「重要な 10 年」〈Web 報道〉
[6] その他省庁発表　　２件
[7] 関連会議等の開催案内、開催記録・報告、資料等
　[開催案内]　　６件　　[開催記録、報告、資料等]　　４件
[8] 海外の化学物質管理情報
○国際：１件　　○欧州：４件　　○米国：６件　　○カナダ：３件　　○韓国：１件
○オーストラリア：３件
[9] その他
◇インフルエンザ、感染症関係：４件　　◇新化学物質、化学物質新利用技術等：１件

猪独活（シシウド）

****

[1] ***化学物質関係事故、事件関係***

◇千葉 野田の工場の敷地内で廃材など火災 消火活動中

＜NHK　2021 年 11 月 12 日＞　https://www3.nhk.or.jp/shutoken-news/20211112/1000072522.html

千葉県野田市の消防本部によりますと野田市目吹にある工場の敷地内で、廃材などが燃えているということです。ＮＨＫのヘリコプターからの映像でも黒い煙が立ち上っているのが確認できます。

現場には消防車などが到着し、現在、消火活動を行っていて、今のところ、けが人などの情報は入っていないということです。

◇その他の事故、事件

・消費者安全法の重大事故等に係る公表について

＜消費者庁　2021 年 11 月 11 日＞　https://www.caa.go.jp/notice/entry/026595/

生命・身体被害に関する消費者事故等として通知された事案：97 件

うち重大事故等として通知された事案：38 件

・消費者安全法の重大事故等以外の消費者事故等の事故情報データバンクの登録について

＜消費者庁　2021 年 11 月 11 日＞　https://www.caa.go.jp/notice/entry/026592/

https://www.caa.go.jp/notice/assets/consumer_safety_cms201_211111_02.pdf

1. 事故情報　(1)事故情報(下記(2)を除く)：３件

(2)事故情報(食中毒情報)：７件

2. リコール・自主回収情報

(1)リコール・自主回収情報(食品関係)：47件

(2)リコール・自主回収情報(食品関係以外)：２件

□***大災害、原発事故対策***

[福島原発事故]

・食品中の放射性物質の検査結果について（１２６１報）(東京電力福島原子力発電所事故関連)

＜厚生労働省　2021 年 11 月 11 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=Va7tBWnivnOKWAXHY

１　自治体の検査結果

小樽市、岩手県、宮城県、仙台市、山形県、群馬県、埼玉県、千葉市、東京都、文京区、横浜市、山梨県、浜松市、大阪市、高知市

※ 基準値超過　６件

No.　49	山形県産	コウタケ	(Cs：140 Bq/kg)
No. 123	群馬県産	ハナイグチ	(Cs：280 Bq/kg)
No. 125	群馬県産	アカモミタケ	(Cs：510 Bq/kg)
No. 126	群馬県産	クリタケ	(Cs：110 Bq/kg)
No. 130	群馬県産	ハナイグチ	(Cs：400 Bq/kg)
No. 133	群馬県産	チャナメツムタケ	(Cs：350 Bq/kg)

２　緊急時モニタリング又は福島県の検査結果

※ 基準値超過　２件

No. 44	群馬県産	コウタケ	(Cs：470 Bq/kg)
No. 45	群馬県産	コウタケ	(Cs：930 Bq/kg)

３　国立医薬品食品衛生研究所における検査

※　基準値超過　なし

****

[2] ***[特集] 新型コロナウイルス感染症***

[状況]

◇省庁発表

・新型コロナウイルス感染症の患者等の発生について（空港検疫）

＜厚生労働省　2021 年 11 月 11 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=g3g70780aKvcjtIRY

・新型コロナウイルス感染症の現在の状況と厚生労働省の対応について（令和３年 11 月 11 日版）

＜厚生労働省　2021 年 11 月 11 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=wzh7k_90KOuczoxRY

◇マスコミ報道　見出し

・ドイツ、1 日の新規感染 5 万人　過去最多、未接種者で急増

＜共同通信　2021 年 11 月 12 日＞　https://nordot.app/831545527201497088?c=39546741839462401

[対策・予防]

◇省庁発表

・自治体・医療機関向けの情報一覧（事務連絡等）（新型コロナウイルス感染症）2021 年を更新しました

＜厚生労働省　2021 年 11 月 11 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=r1QX_5MYRIfwoug9Y

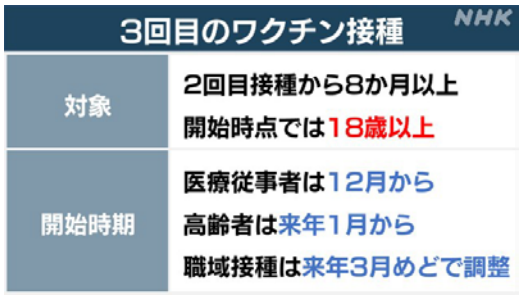
◇ワクチン、検査薬、治療薬等

・新型コロナウイルスワクチンの特例承認について

＜厚生労働省　2021 年 11 月 11 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=kWopwaOmernOnN8DY

・コロナワクチン 3 回目接種 18 歳以上で開始に 副反応や有効性は

＜NHK　2021 年 11 月 11 日＞　https://www.nhk.or.jp/shutoken/newsup/20211111b.html



・18 歳以上に 3 回目の接種承認　ファイザー製ワクチン

＜共同通信　2021 年 11 月 11 日＞　https://nordot.app/831351410836422656?c=39546741839462401

・モデルナ、３回目接種を申請　新型コロナワクチン

＜時事ドットコム　2021 年 11 月 11 日＞　https://www.jiji.com/jc/article?k=2021111101203&g=soc

・コロナ飲み薬供給で合意　160 万回分、米メルク製

＜共同通信　2021 年 11 月 11 日＞　https://nordot.app/831183388273786880?c=39546741839462401

・日本購入は 160 万人分　コロナ飲み薬、5 日間服用

＜共同通信　2021 年 11 月 11 日＞　https://nordot.app/831462479613132800?c=39546741839462401

・コロナ抗体薬の承認勧告　「ロナプリーブ」など２種―ＥＵ当局

＜時事ドットコム　2021 年 11 月 12 日＞　https://www.jiji.com/jc/article?k=2021111200186&g=int

---

◇大学等関係

・コロナ禍の学生支援　弘大で地元食材の無料配布

＜朝日新聞　2021 年 11 月 11 日＞　https://www.asahi.com/articles/ASPCB6R9NPCBULUC00P.html

新型コロナの影響で収入が減った大学生を支援しようと、弘前大は 10 日、青森県内の 15 市町村と協力して「食支援プロジェクト」を始めた。地元食材の詰め合わせ計 1800 個を無料で配布するほか、ヒラメのヅケ丼や牛焼き肉丼を学生食堂で安く提供。特産品の PR にもつなげる。

プロジェクトに参加するのは、弘大と連携協定を結んでいる津軽地方の 9 市町村やむつ市、階上町など計 15 市町村。

平川市はご当地カレーや新米、西目屋村は白神そばのセットなど、9 市町村がえりすぐりの地元食材を集めた箱詰めや袋詰めを各 200 個ずつ用意。配布は学部生と大学院生を対象にした事前抽選制で、計 2600 人から応募があった。

食堂では 12 日まで、弘前市が地元店製造のアップルパイ 4200 個、南部町がご飯、田子町がにんにく素揚げを、それぞれ無料で提供するなど 7 市町村のメニューが提供される。

弘大の文京町キャンパスでは 10 日、法被姿の自治体職員が、抽選に当たった学生に詰め合わせを手渡した。食堂ではアップルパイや雪人参（にんじん）スムージーが出され、心待ちにする学生が列を作った。

農学生命科学部 1 年の梅原里奈さんは静岡県出身で、青森市から青天の霹靂（へきれき）やりんご南蛮味噌（みそ）の詰め合わせを受け取った。「青森のことをまだよく知らないので楽しみ。自炊の食費も浮くので助かる」と笑顔を見せた。

・学生を救え　200 円弁当「うえだめし」　岩手大学が商店街とコラボ

＜朝日新聞　2021 年 11 月 11 日＞　https://www.asahi.com/articles/ASPCB6R29PC3ULUC00Y.html

コロナ禍で困っている学生に 200 円で夕食を――。岩手大学（盛岡市上田）は近くの上田商店街と協力し、商店街の飲食店 7 店舗が作る弁当を格安で販売する取り組み「うえだめし」を始めた。

初日の 2 日、大学構内には午後 5 時の販売開始前から 40 人以上の学生が列を作った。120 食の弁当が机に並び、1 時間で完売。色鮮やかなおかずがつまった 1 個 700 円相当の弁当が 200 円で売られ、学生らは「安すぎる」と手に取っていた。

「うえだめし」は上田の飯に、お試し、召し上がれの意味を込めたという。企画を主催したのは、まちづくりサークル NPCN。代表の佐々木みらいさん（3 年）の周りにも、コロナ禍でアルバイト先の居酒屋が潰れたりシフトを削られたりするなど、経済的に厳しい一人暮らしの友人がいるという。「まだまだ大変な学生も多い。おいしい夕食を安く食べてほしい」

近くに教育施設が多い同商店街では、コロナ禍で利用者が激減。今回の取り組みは、商店街の飲食店を元気づけるねらいもある。盛岡市上田商店街協同組合の中川善功理事長は「この機会に、上田の飲食店のおいしさも知ってくれれば」と話す。

29 日まで平日に計 11 日間、計 1320 食を販売する予定だ。詳しい日程は NPCN のツイッターやホームページで見られる。

・一斉休校に感染拡大の抑制効果なし　全国のデータ分析した研究結果

＜京都新聞　2021 年 11 月 11 日＞　https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/674024

◇マスコミ報道　見出し

・オランダ、部分的な都市封鎖を 12 日発表も コロナ感染者過去最多で

＜REUTERS　2021 年 11 月 12 日＞

https://jp.reuters.com/article/health-coronavirus-netherlands-idJPKBN2HW21Z

****

[3] ***健康安全***

◇葉タバコ農家、4 割が廃作へ　1729 戸、10 年ぶり募集

＜共同通信　2021 年 11 月 12 日＞　https://nordot.app/831489783955095552?c=39546741839462401

日本たばこ産業（JT）は 11 日、全国の葉タバコ農家の約 4 割に当たる 1729 戸が、2022 年以降の生産をやめる

と発表した。10 年ぶりに実施した廃作希望の募集に応じた。国産葉タバコの 22 年の耕作面積は前年比で約 34%減の 3889 ヘクタールになる。

廃作に応じた農家には、10 アール当たり 36 万円の協力金を支払う。健康志向の高まりや段階的な増税によるたばこの販売減少を受けて葉タバコ農家は減少を続けており、11 年の廃作募集でも 4 割に当たる約 4 千戸が応じた。

22 年の耕作面積の減少率は、1985 年の民営化以降では 2012 年の約 36%に次ぐ大きさになる。

****

[4] ***<u>廃棄物関係</u>***

◇<u>プラ製品「添加剤」、汚染広がりに懸念　野生生物や人から見つかる</u>

＜朝日新聞　2021 年 11 月 11 日＞　https://www.asahi.com/articles/ASPC85HM0PC5ULBJ00L.html

プラスチック製品が劣化したり燃えたりするのを防ぐために使われる化学物質が最近、海鳥やヤドカリなど野生生物の体内から見つかった。人間から見つかった物質もある。微量でも健康に悪影響を及ぼす可能性があり、専門家は詳しい調査や対策が必要だと訴えている。

「世界の海鳥の 50%にプラスチック添加剤の汚染が広がっている」。日米などの研究チームが 10 月、こんな発表をした。世界 16 地域で海鳥 32 種、145 羽を調べたところ、臭素系難燃剤や、日光による劣化を防ぐ紫外線吸収剤が 76 羽から見つかった。

日本の新潟県・粟島ではオオミズナギドリ 3 羽から低濃度の汚染が見つかった。調査をまとめた論文が日本環境化学会の英文誌に発表（https://doi.org/10.5985/emcr.20210009 別ウインドウで開きます）された。

「環境ホルモン」として知られる物質も

調査にかかわる東京農工大の高田秀重教授らは最近、沖縄でオカヤドカリを調べ、内臓から臭素系難燃剤を見つけた。室内の実験では、二枚貝や海水魚のエサにプラスチックのかけらを加えると、体内に添加剤がたまることもつきとめた。

高田教授によれば、添加剤は水に溶けにくいが油には溶けやすい。生き物の胃や腸には、食べ物の油分がある。誤ってプラスチックのかけらをのみ込むと、その油に添加剤が溶け出し、一部が吸収されるというメカニズムが確認されている。

添加剤には加工用に材料を柔らかくする可塑（かそ）剤などもあり、原料の約 7%を占める。この中には環境ホルモン（内分泌攪乱（かくらん）物質）として知られるビスフェノール A（BPA）やフタル酸エステル類などもある。環境ホルモンは生物の体内に入ると、本来のホルモンの働きを邪魔し、異常を引きおこす。

BPA やフタル酸エステル類などの添加剤はプラ容器や部屋の壁紙など身近な場所にも多く含まれ、人間の体内からも見つかっている。半分に減るまでに体内にとどまる時間（半減期）はフタル酸エステル類では数時間～数日と短いが、常にさらされ続けることで思わぬ影響が出ないか、心配されている。

北海道大学環境健康科学研究教育センターの岸玲子特別招へい教授らの研究グループは 2001 年から「環境と子どもの健康に関する北海道スタディ」で、母親 2 万人の血液に含まれる化学物質や、子どもへの影響を調べてきた。

これまで約 250 人を分析したところ、母親でフタル酸エステル類の血中濃度が高いと、7 歳までの子どもに食物アレルギーや、中耳炎や水ぼうそうなどの感染症リスクが高い傾向がわかってきた。

「人間への影響が出始めている可能性」

また、こうした物質の母親の…

◇<u>たった 1 人で海岸のゴミ回収、ポリ袋 1 千袋　広がり始めた善意の輪</u>

＜朝日新聞　2021 年 11 月 11 日＞　https://www.asahi.com/articles/ASPCB6WZNPCBPUUB001.html

鳥取県内の海岸で、たった 1 人で漂着ゴミを回収する人がいる。きれいな海を守りたいと願い、コロナ禍もあって思い立った。集めた漂着ゴミは膨大な量になっている。

琴浦町逢束の河端明彦さん（66）。鳥取市内の介護施設に勤務する。

昨春、通勤で国道 9 号を車で通った際、船磯（鳥取市気高町）の港に大量のゴミが見えた。当時は新型コロナウイルスの感染者が増え始めた頃だった。

「コロナで回収作業ができないのかも」

20 年ほど前から県内の海岸を歩き、流れ着いたガラスの浮き玉などを拾い集めている。「きれいな海であってほしい」との思いもあり、回収を始めた。

仕事のある日は 1 日 4 時間、休みの時は 10 時間、ほぼ毎日海岸を歩いた。事前に自治体に連絡し、ゴミの一時的な保管場所を相談。ゴミを見つけるとポリ袋に入れ、車に積んで運び、集めたゴミは自治体が処分場まで運んでくれたという。

昨年は冬までに船磯や白兎など鳥取市内 5 カ所で作業。春から再開した今年は妻波海岸など、北栄町内の海岸まで範囲を広げた。

回収したゴミの総量は、90 リットルのポリ袋に入れた分だけで 1 千袋ほど。発泡スチロールが過半を占めるが、プラスチックの浮輪などの漁具、ペットボトルも多く、ドラム缶もあった。

プラスチックのゴミは、海に流出すると紫外線や波の力で細かくなり、魚が食べて体内に蓄積される。

「漂着ゴミはとてつもなくある。せめてプラスチックだけでも回収しないと」

今年の回収活動は先月で終え、来春に再び始める予定だ。

◇

河端さんが北栄町で集めたゴミは、町内の妻波海岸近くの広場に仮置きされていた。町の打診を受けた県中部清掃事業協同組合（倉吉市）が 10 日、無償で処分場へ搬送。善意の輪が広がっている。

町によると、河端さんが集めたゴミは 90 リットルのポリ袋 250 枚分と、町が提供した大型土嚢（どのう）袋 6 枚分、漁網用の漁具約 100 個など。広場に並べると約 200 平方メートル分と大量で、町が県中部で清掃奉仕活動をしている組合に依頼すると、ボランティアでの搬送に応じてくれたという。

この日、組合に入っている廃棄物収集運搬受託業者の従業員ら約 40 人がゴミの仮置き場に集合。収集車など 10 台ほどに積み、ほうきリサイクルセンター（倉吉市）などへ運んだほか、近くの大谷海岸でゴミ回収もした。

作業に先立ち、河端さんが「SDGs にかなうものになればと思っている」とあいさつ。手嶋俊樹町長は「なかなかできることじゃない。ありがとうございます」と感謝し、組合にも謝意を述べた。

町では、海岸沿いの 16 自治会に漂着ゴミの回収を依頼しているが、町環境エネルギー課の杉本裕史課長は「ゴミの回収は白砂青松の景観を保つのに大事なこと。河端さんにも多大な力添えをいただき、ありがたい」と話している。

****

[5] ***温暖化対策関係***

◇米中が温暖化対策協力で合意　共同宣言「重要な 10 年」

＜共同通信　2021 年 11 月 11 日＞　https://nordot.app/831262413358743552?c=39546741839462401

米中両政府は 10 日、英国で開催中の国連気候変動枠組み条約第 26 回締約国会議（COP26）に合わせ、地球温暖化対策の国際枠組み「パリ協定」の目標達成に協調して取り組むとの共同宣言を発表した。「重要な 10 年間」である 2020 年代に行動を加速させると強調。双方の具体的対策の状況を検証するため、定期開催する作業部会を設置する。

中国と米国は国別の温室効果ガス排出量のトップ 2 だが、バイデン米大統領が COP26 の会場で演説する一方、中国の習近平国家主席は欠席し、足並みの乱れに懸念が出ていた。両国の協力姿勢は交渉に明るい材料となりそうだ。

****

[6] ***その他省庁発表***

◇種苗法第二十一条の二第三項の規定に基づき届出に係る事項を公示する件（農林水産省告示第 1958、1959 号）

［官報］　令和 3 年 11 月 11 日　号外　第 256 号　1～39 頁

https://kanpou.npb.go.jp/20211111/20211111g00256/20211111g002560001f.html

---

◇令和 5 年度開設予定大学等一覧＜諮問＞

＜文部科学省　2021 年 11 月 11 日＞　http://mailmaga.mext.go.jp/c/agayac4j2I7WyobH

****

[7] *関連会議等の開催案内、記録・報告、資料等*

[開催案内]

・令和３年度　改正フロン排出抑制法に関する説明会の開催について　　12 月 17 日、1 月 17 日

＜環境省　2021 年 11 月 11 日＞　https://www.env.go.jp/press/110177.html

改正フロン排出抑制法における関係者の役割を解説するため、業務用冷凍空調機器のユーザー向け説明会と、建物解体業者及び廃棄物・リサイクル業者向け説明会の２種類をオンラインにて開催します。

フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）が改正により、機器ユーザーのフロン回収義務違反に係る直接罰の導入、建物解体時の取組の強化、フロン回収が確認できない廃棄機器の引取禁止など、関係者が相互に確認・連携し、ユーザーによる機器の廃棄時のフロン類の回収が確実に行われるための仕組みが、令和２年４月１日より導入されました。

改正フロン排出抑制法における関係者の役割を解説するため、業務用冷凍空調機器のユーザー（第一種特定製品の管理者）向け説明会並びに建物解体業者及び廃棄物・リサイクル業者向け説明会の２種類をオンラインにて開催します。

内容

- フロンをとりまく動向について（共通）
- 改正フロン法の概要について（対象者別）

・厚生科学審議会科学技術部会全ゲノム解析等の推進に関する専門委員会（第６回）（ペーパーレス）の開催について　　11 月 18 日

＜厚生労働省　2021 年 11 月 11 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=eYLBKUXOklEmdD_rY

（１）全ゲノム解析等に係る検討状況について

（２）全ゲノム解析等に係る AMED 研究について

（３）全ゲノム解析等に係る厚生労働科学研究について

（４）「全ゲノム解析等実行計画（第２版）」に向けた検討

（５）その他

・食品安全委員会（第 839 回）の開催について　　11 月 16 日

＜内閣府　2021 年 11 月 11 日＞　http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/annai839.html

（１）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見の聴取に関するリスク管理機関からの説明について

・動物用医薬品　１品目

鶏コクシジウム感染症(ブルネッティ･ネカトリックス)混合生ワクチン(日生研鶏コクシ弱毒２価生ワクチン（BN))

・遺伝子組換え食品等　１品目

DIDK-0176 株を利用して生産されたホスホリパーゼ

（２）ぶどう酒の製造に用いる添加物に関するワーキンググループにおける審議結果について

・「L-酒石酸カルシウム」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

（３）食品安全基本法第２４条の規定に基づく委員会の意見について

・食品衛生法第１３条第３項の規定に基づき、人の健康を損なうおそれのないことが明らかであるものとして厚生労働大臣が定める物質（対象外物質）「アブシシン酸」に係る食品健康影響評価について

・農薬「エトフェンプロックス」に係る食品健康影響評価について

（４）令和４年度食品安全モニター募集について

（５）その他

・食品安全委員会 遺伝子組換え食品等専門調査会（第２１８回）の開催について　　１１月１９日

＜内閣府　2021 年 11 月 11 日＞　http://www.fsc.go.jp/senmon/idensi/annai/idensi_annai_218.html

（１）ゲノム編集技術応用食品（魚類）の安全性評価における留意事項について

（２）その他

・食品安全委員会 遺伝子組換え食品等専門調査会（第２１９回）の開催について（非公開）　　１１月１９日

＜内閣府　2021 年 11 月 11 日＞　http://www.fsc.go.jp/senmon/idensi/annai/idensi_annai_219.html

（１）食品健康影響評価について意見を求められた遺伝子組換え食品等の安全性評価について
・Raα3114 株を利用して生産されたプロテアーゼ
・長鎖多価不飽和脂肪酸含有及びイミダゾリノン系除草剤耐性セイヨウナタネ LBFLFK（食品・飼料）
（２）その他
・国立大学法人等の施設整備の推進に関する調査研究協力者会議（第２回）の開催について　　11 月 18 日
＜文部科学省　2021 年 11 月 11 日＞　http://mailmaga.mext.go.jp/c/agayac4j2I7WyobI
1. 「イノベーション・コモンズ（共創拠点）」の推進方策の検討について
2. その他

[開催記録、報告、資料等]
・第 140 回労働政策審議会安全衛生分科会議事録　　10 月 11 日
＜厚生労働省　2021 年 11 月 11 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=dY7NJUnCnl0qeDnnY
（１）事務所衛生基準規則及び労働安全衛生規則の一部を改正する省令案要綱について
（２）建設アスベスト訴訟に係る最高裁判決を踏まえた対応について
（３）第 13 次労働災害防止計画の実施状況について
（４）その他
・多様化する労働契約のルールに関する検討会　第９回資料　　11 月 12 日
＜厚生労働省　2021 年 11 月 11 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=-QJBqcVOEtGm9LNrY
多様な正社員の雇用ルール等に関する論点について
・第８回多様化する労働契約のルールに関する検討会（議事録）　　10 月 12 日
＜厚生労働省　2021 年 11 月 11 日＞　https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=1yxvh-tgPP-I2pJFY
無期転換ルールに関する論点について
・第２回「消費者保護のための啓発用デジタル教材開発に向けた有識者会議」成年向け教材開発分科会
11 月 1 日
＜消費者庁　2021 年 11 月 11 日＞
https://www.caa.go.jp/policies/future/meeting_materials/review_meeting_003/026056.html
2.デジタル教材の制作状況について
3.デジタル教材の実証計画について
4.デジタル教材の実証検証について
****

[8] ***海外の化学物質管理情報***　　＜NITE 化学物質管理関連情報　第 561 号　2021 年 11 月 10 日　から＞
〇国際
・国連環境計画、海洋ごみとプラスチック汚染に関する早急な世界規模の対応の必要性を確認
＜環境展望台：国立環境研究所　2021 年 10 月 21 日＞
https://tenbou.nies.go.jp/news/fnews/detail.php?i=32689

〇欧州
・Commission Regulation (EU) 2021/1902 of 29 October 2021 amending Annexes II, III and V to Regulation (EC) No 1223/2009 of the European Parliament and of the Council as regards the use in cosmetic products of certain substances classified as carcinogenic, mutagenic or toxic for reproduction
＜欧州委員会（EC）　2021 年 11 月 3 日＞
https://eur-lex.europa.eu/legal-content/EN/TXT/?uri=CELEX%3A32021R1902&qid=1635983036631
欧州委員会（DG GROW）は、発がん性、変異原性、または生殖毒性（CMR）と分類された特定の物質の化粧品への使用に関し、欧州化粧品規則（EC）No 1223/2009 の附属書 II、III、および V を改正する 2021/10/29 付け欧州委員会規則（EU）2021/1902 を官報公示した。この改正は、化粧品規則の付属書 II（化粧品への配合が禁止されている物質）に 23 物質群を追加することを含み、2022/03/01 より適用される。

・Current calls for comments and evidence
＜欧州化学品庁(ECHA)　2021 年 10 月 22 日＞　https://www.echa.europa.eu/calls-for-comments-and-evidence
ECHA は、ドイツの労働安全衛生研究所（BAuA）がビスフェノール A および構造的に類似したビスフェノール類を REACH 規則により制限することに関して、意見と情報の提供を求めていることを掲載した。この BAuA による意見募集期間は、2021/10/22 より 2021/12/22 まで。BAuA の意見募集　→
https://link.webropolsurveys.com/Participation/Public/285b96ad-500b-4629-b6a7-908043b3e9e2?displayId=Ger2377521
・IUCLID news
＜欧州化学品庁(ECHA)　2021 年 10 月 26 日＞
https://iuclid6.echa.europa.eu/view-article/-/journal_content/title/iuclid6-v6-is-available
ECHA は、IUCLID 6 の version 6 が利用可能になったことを発表した。今回のバージョンでは、種々の改善だけでなく、IUCLID フォーマットの変更も含まれている。IUCLID 6 Release notes　→
https://iuclid6.echa.europa.eu/documents/1387205/1809509/IUCLID_6_Release_Notes.pdf/9d7a65ce-e1db-83dd-43f5-8ec04797c7b2?t=1635248296780
・IUCLID 6: October 2021 release
＜欧州化学品庁(ECHA)　2021 年 11 月 10 日＞　https://echa.europa.eu/-/webinar-iuclid6-october-release
ECHA は 10 月にリリースされた最新の IUCLID 6 に関する Web セミナーを開催する。
開催日時：2021 年 11 月 10 日　11:00 - 12:00 EET
説明資料：IUCLID 6 Version 6.2.0 (October 2021) release webinar　→
https://echa.europa.eu/documents/10162/10774954/101121_iuclid_webinar_slides_en.pdf/d2ff4398-2f9b-7009-4812-83afda82ca79?t=1636465444523
Live Q&A: 同日 11:00 - 17:00 EET→ https://app.sli.do/event/qnmnezhl
---

○米国

・EPA Announces Revisions to Mercury Inventory Reporting Rule
＜米国環境保護庁(US EPA)　2021 年 11 月 2 日＞
https://www.epa.gov/chemicals-under-tsca/epa-announces-revisions-mercury-inventory-reporting-rule
EPA は、水銀または水銀添加製品を製造（輸入を含む）する者、あるいは製造工程において意図的に水銀を使用する者に報告を求める 2018 年水銀インベントリ報告規則の改訂を発表した。この改訂は、水銀添加電池など意図的な水銀添加製品を使用した組み立て済み製品の報告免除を無効とするもので、最終規則が官報公示された 30 日後に発効するとしている。
・EPA Proposes New Source Performance Standards Updates, Emissions Guidelines to Reduce Methane and Other Harmful Pollution from the Oil and Natural Gas Industry
＜米国環境保護庁(US EPA)　2021 年 11 月 2 日＞
https://www.epa.gov/controlling-air-pollution-oil-and-natural-gas-industry/epa-proposes-new-source-performance
EPA は、石油および天然ガス産業からのメタンおよびその他の有害汚染を削減するために、新規発生源パフォーマンス基準の更新と排出ガイドラインを提案した。この提案では、現在のリストに掲載されている排出削減要求を拡大し、州に全国の数十万の既存の発生源からメタン排出を削減させることを要求している。
・Agency Information Collection Activities; Proposed Revision to an Existing Collection, Generic Clearance for TSCA Section 4 Test Rules, Test Orders, Enforceable Consent Agreements (ECAs), Voluntary Data Submissions, and Exemptions From Testing Requirements; Comment Request
＜米国環境保護庁(US EPA)　2021 年 11 月 2 日＞
https://www.federalregister.gov/documents/2021/11/02/2021-23830/agency-information-collection-activities-proposed-revision-to-an-existing-collection-generic
EPA は、「TSCA 第 4 条の試験規則、試験命令、強制力のある同意協定、自主的なデータ提出、および試験要件からの免

除の一般的なクリアランス」と題しEPA ICR No.1139.25で識別される既存の情報収集要求（ICR)の改訂提案を審査および承認のために行政管理予算局（OMB）に提出する予定であることを官報公示し意見募集を開始した。意見提出は2022/01/03まで。

・EPA to Hold Building Managers Responsible for Lead-Based Paint Safety Requirements

＜米国環境保護庁(US EPA)　2021年11月4日＞

https://www.epa.gov/newsreleases/epa-hold-building-managers-responsible-lead-based-paint-safety-requirements

EPAは、1978年以前の住宅または児童用施設において、EPAの認証を受けずに規制対象となる改修工事を実施する不動産管理会社（PMC）に適用される、鉛系塗料の改修、修理、塗装（RRP）規則の遵守状況を改善し、執行を強化する意向を表明した。

・Withdrawal of Two Answers to Frequent Questions About Property Management Companies and the Toxic Substances Control Act Lead-Based Paint Renovation, Repair, and Painting Rule

＜米国環境保護庁(US EPA)　2021年11月4日＞

https://www.federalregister.gov/documents/2021/11/04/2021-24010/withdrawal-of-two-answers-to-frequent-questions-about-property-management-companies-and-the-toxic

EPAは、不動産管理会社(PMC)と、彼らのTSCAの鉛改修・修理・塗装(RRP）規則に基づくコンプライアンスに関する2件のよくある質問（FQ23002-13650およびFQ23002-18348）への回答を2022/03/21に撤回する予定であることを公表し、このEPAの意図に対して意見募集することを官報公示した。意見提出は2021/12/06まで。

EPA Lead-Based Paint Program Frequent Questions（March 2018）　→

https://www.epa.gov/sites/default/files/2018-03/documents/full_rrp_fqs_march_22_2018.pdf

・Technical Barriers to Trade Information Management System Regular notification G/TBT/N/USA/1795

＜米国　2021年11月1日＞

http://tbtims.wto.org/en/RegularNotifications/View/175153?FromAllNotifications=True

米国カリフォルニア州有害物質管理局(DTSC)は、Safer Consumer Products(SCP)規則の改正案をWTO/TBT通報した。この改正は、トルエンを含むネイル製品をSCP規則の優先製品リストに追加するもので、この通報への意見募集は2021/11/18まで。

WTO/TBT通報文書［PDF］→https://members.wto.org/crnattachments/2021/TBT/USA/21_6947_00_e.pdf

---

〇カナダ

・Approach for a Subset of Organic and Inorganic Substances Prioritized Under the Chemicals Management Plan

＜カナダ　2021年11月5日＞

https://www.canada.ca/en/health-canada/services/chemical-substances/chemicals-management-plan-3-substances/approach-subset-organic-inorganic-substances-prioritized-chemicals-management-plan.html

カナダ政府は、化学物質管理計画（CMP）に基づいて優先付けられた無機および有機化合物のサブセットに対するアプローチ文書を公開し、60日間の意見募集を行うことを発表した。対象となる物質は当該アプローチ文書に含まれる。

アプローチ文書　→

https://www.canada.ca/en/environment-climate-change/services/evaluating-existing-substances/approach-subset-organic-inorganic-substances-prioritized-chemicals-management-plan.html

・Flame Retardants Group

＜カナダ　2021年11月6日＞

https://www.canada.ca/en/health-canada/services/chemical-substances/chemicals-management-plan-3-substances/flame-retardants-group.html

カナダ政府は、化学物質管理計画(CMP)に基づき、10種類の難燃剤の最終スクリーニング評価案と、その6種の難燃剤に対するリスク管理の範囲を公表し、2022/01/05まで60日間の意見募集を行うことを発表した。

カナダ官報　→ https://canadagazette.gc.ca/rp-pr/p1/2021/2021-11-06/html/notice-avis-eng.html#ne1

・Phenol, methylstyrenated

＜カナダ　2021 年 11 月 6 日＞
https://www.canada.ca/en/health-canada/services/chemical-substances/chemicals-management-plan-3-substances/phenol-methylstyrenated.html
カナダ政府は、化学物質管理計画(CMP)に基づき、フェノールのメチルスチレン化物(CAS RN 68512-30-1)のスクリーニング評価案とリスク管理の範囲を公開し、2022/01/05 まで 60 日間の意見募集することを発表した。この評価案では、当該物質はカナダ環境保護法(CEPA 1999)第 64 条の一つ以上の基準に合致するとしている。
カナダ官報　→ https://canadagazette.gc.ca/rp-pr/p1/2021/2021-11-06/html/notice-avis-eng.html#ne2

○韓国

・Technical Barriers to Trade Information Management System Regular notification G/TBT/N/KOR/1003
＜韓国　2021 年 11 月 1 日＞
http://tbtims.wto.org/en/RegularNotifications/View/175098?FromAllNotifications=True
韓国環境部国立環境科学院(NIER)は、「殺生物性活性物質および殺生物性製品の承認申請資料の作成範囲と作成方法に関する規則」を WTO/TBT 通報した。この規則は、殺生物性活性物質の同定のための成分分析データの改良と、人および環境へのリスク評価範囲の体系化を図るものと説明している。この通報への意見提出は 2021/12/31 まで。
WTO/TBT 通報文書（韓国語）
→ https://members.wto.org/crnattachments/2021/TBT/KOR/21_6884_00_x.pdf
→ https://members.wto.org/crnattachments/2021/TBT/KOR/21_6884_01_x.pdf
---

○オーストラリア

・Commercial evaluation authorisation - 1 November 2021
＜オーストラリア　2021 年 11 月 1 日＞
https://www.industrialchemicals.gov.au/news-and-notices/commercial-evaluation-authorisation-1-november-2021
オーストラリア工業化学品導入機構(AICIS)は、工業化学品法(IC Act 2019) 第 58 条に従い、1 件の商業的評価許可を発行した。この許可により企業は工業化学品の商業的評価を目的とした輸入または製造を行うことができる。
・New chemical assessment statements published - 1 November 2021
＜オーストラリア　2021 年 11 月 1 日＞
https://www.industrialchemicals.gov.au/news-and-notices/new-chemical-assessment-statements-published-1-november-2021
オーストラリア工業化学品導入機構(AICIS)は、工業化学品法(IC Act 2019) 第 37 条に従い、2 件の新規工業化学品の評価文書を公開した。
・New chemical full public reports published - 1 November 2021
＜オーストラリア　2021 年 11 月 1 日＞
https://www.industrialchemicals.gov.au/news-and-notices/new-chemical-full-public-reports-published-1-november-2021
オーストラリア工業化学品導入機構(AICIS)は、工業化学品（必然的改正および移行規定）規則 2019 の第 13 条に従い、6 件の新規工業化学品のパブリックレポートを公開した。
****

[9] ***その他***

◇インフルエンザ、感染症関係

・鹿児島県で採取された水における高病原性鳥インフルエンザウイルス検査陽性（野鳥国内１例目）及び野鳥サーベイランスの対応レベル引き上げについて
＜環境省　2021 年 11 月 11 日＞　https://www.env.go.jp/press/110213.html
・野鳥で高病原性、今季初の確定　鳥インフル、鹿児島・出水で検出
＜共同通信　2021 年 11 月 11 日＞　https://nordot.app/831451689714548736?c=39546741839462401

・秋田県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の遺伝子解析及びNA亜型の確定について
＜農林水産省　2021年11月11日＞　https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211111.html
---

・ドイツのメクレンブルク・フォアポンメルン州からの家きん肉等の一時輸入停止措置について
＜農林水産省　2021年11月11日＞　https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211111_5.html
---

◇新化学物質、化学物質新利用技術等

・糖鎖のデータベース構築へ　将来は医療応用―東海国立大機構など
＜時事ドットコム　2021年11月12日＞
https://www.jiji.com/jc/article?k=2021111101042&g=soc

人体で重要な役割を果たしている「糖鎖（とうさ）」について、東海国立大学機構と自然科学研究機構、創価大は１１日、網羅的に解析してデータベースを構築し、国内外の研究者に公開する「ヒューマングライコームプロジェクト」を始めると発表した。連携・協力の覚書を文部科学省で締結した。将来はがんや認知症など、医療への応用を目指す。

東海国立大学機構を構成する名古屋大と岐阜大が共同設置した糖鎖生命コア研究所と自然科学研究機構・生命創成探究センター、創価大・糖鎖生命システム融合研究所が連携。文科省の共同利用・共同研究拠点に認定された。

糖鎖はブドウ糖やガラクトースなどの単糖が鎖状に連なったり、木の枝状になったりして、細胞の表面に多数存在するほか、たんぱく質や脂質に結合し、さまざまな機能を担う。ＡＢＯの血液型は赤血球の表面にある糖鎖の違いで分類される。

糖鎖生命コア研究所の門松健治所長（名大教授）は記者会見で、「遺伝子を構成するＤＮＡやたんぱく質の立体構造に比べ、糖鎖は網羅的な解析が遅れているが、インフルエンザ薬や抗がん剤などに応用され始めている。日本が強い分野であり、世界標準の技術を生み出したい」と話した。

********** 以上 **********